

市民研 通信

No.11

2012年4月
通巻139号

●市民研ホームページに掲載中の最新の論文

～すべてどなたでもダウンロードできます

巻頭言

4月からの市民科学研究所の活動について
放射線防護に関する市民科学者国際会議へのご支援をお願いします

報告 市民科学講座 (3月25日実施@光塾)

「東日本震災から1年—大手メディア自粛報道の原因究明と克服」

論文「低線量被曝問題はなぜ混乱が続くの

～復興をさまたげる政府の放射線安全論」

林衛 (科学ジャーナリスト、富山大学人間発達科学部)

報告 生活習慣病予防ゲーム その概要/研究開発報告書

市民研「科学コミュニケーションツール研究会」

文集 私のおすすめ3作品 2011 by 市民研会員有志

●会員向け送付資料

- ・論文「子どもたちの被曝をどうとらえ、低減化するか」(上田昌文)
- ・講演レジュメ@「リニア新幹線を考える相模原連絡会」
市民集会 3.31(上田昌文)

●近日公開資料

- ・翻訳「携帯電話—技術、曝露、健康影響」
原文は Environment and Human Health, Inc. による "Cell Phones: Technology, Exposures, Health Effects" (2011年全 72 ページ)

●市民研が主催・共催するイベント

- ・生活習慣病予防ゲームお試し会
4月23日午後7時～市民研事務所にて：交通費+薄謝支給、3名まで
- ・市民科学者国際会議事前勉強会第1回「CRPは黄門さまの印籠か？」
5月20日(日)13時15分～ 駒込地域活動センター視聴覚室
- ・シリーズ「語る+聞く生殖のいま」(1)
助産士・富田江里子さんを招いて(7月3日@光塾、予定)
- ・東京スカイツリー電磁波計測(4月～5月の土日にて予定)
- ・放射線防護のための市民科学者国際会議(6月23日、24日)

4月からの市民科学研究所の活動について

この4月から、新しい取り組みがいくつか始まりましたので、お知らせいたします。

新しい事務局に須川みはるさんが就任しました。原則として週2回午前10時～午後6時に勤務しています。

認定NPOの取得に向けて準備をすすめています。担当は、須川事務局員と柿原泰理事です。この資格が取得できますと、市民科学研究所の場合会費が実質寄付に相当するものとなっていますので、会費を払ってくださる方々への負担が大きく軽減します。

運営委員体制を入れて、各理事が中心となって持ち回りで種々のイベントや『通信』の企画を担います。**運営会議**は、月2回午後7時～、担当理事1名+上田(代表)+須川(事務局)の3名で行います(4月+5月：横山雅俊理事、6月+7月：石塚隆記理事)。市民研の運営に積極的に関わってみたい方は、運営会議のスケジュールを公開していますので、前もってご連絡の上、同席なさってください。

会員であれば、いつでも「**市民研メーリングリスト**」に参加できます。参加者(現在70名)によって情報や意見の交換がさかんになされています。参加希望者はいつでもご連絡ください。

研究員や翻訳アルバイトを常時募集しています。内容によって、いずれも有給・有償の場合があります。お問い合わせください。

インターンシップの大学生を受け入れています。2011年から、お茶の水女子大学との提携が始まっています。徐々に他大学へも拡大していければと考えております。

『通信』(2ヶ月ごと)に**会員向け資料**を同封して送付することになりました。雑誌に書いた論文や講演の際のレジュメなど、市民科学研究所の日々の活動に関連したテーマでのホットな資料としてご活用いただけます。海外の会員の方へはPDFをデータ便にて送信します。

「放射線防護に関する市民科学者国際会議」へのご支援をお願いします

来る2012年6月23日と24日の両日にわたって、「放射線防護に関する市民科学者国際会議～福島第一原発事故の健康影響の究明と今後の対策の確立のための科学的基盤～」(Citizen-Scientist International Symposium on Radiation Protection ~ scientific basis for investigating into health influence and establishing future measures related to the Fukushima Daiichi nuclear disaster ~)を開催します。福島原発事故以後の世界において確立されるべきよりよい放射線防護のあり方を、市民の視点に立ち、国際的なネットワークを通して、科学的に問題提起し議論していくことを目指します。

この会議は、「放射線防護のための市民科学者ネットワーク」(Citizen-Scientist Network for Radiation Protection, CSNRP)の構築を目指して、この国際会議のために組織された実行委員会が主催するものです(実行委員長は市民研の上田が担当)。CSNRPは、2011年3月以降、福島第一原発事故による被害と被曝を最小化することにそれぞれの立場から取り組んできた4団体「市民放射能測定所」「NPO法人セイブスプロジェクト」「高木学校」「NPO法人市民科学研究所」の有志らが呼びかけて結成されました。

現在、海外からの科学者10名ほどの招聘が決まりつつあり、各界の諸団体・諸個人の皆さんへの協賛・協力を募っています。「事前勉強会」も動き始めました。4月末に新しいホームページも立ち上がることになり、プログラムの詳細をプログラウのプログラ mh 申込や支援カンパをそこでも受け付けることとなります。どうか、この会議の成功に向けて、皆さんの大いなるご支援・ご協力をお願いいたします。

◆2012年6月23日(土曜)～24日(日曜)

◆国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟・1階レセプションホールおよび国際会議室

◆参加費：一日券：3000円、二日間通し券：5500円

◆申込方法：5月10日よりホームページにて開始します。
<http://www.csnrp.org/>